

みず“しるべ”

編集・発行
国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351
ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>
メールアドレス shinmaru@cbr.mlit.go.jp
TEL0574-43-2780 FAX0574-43-3921



平成28年4月14日発行



平成28年度事業概要 ～新丸山ダム新たな段階へ～

平成28年度、新丸山ダムは新たな段階へ移行します。

ダムの建設事業は、調査着手から完成まで、いくつかの段階を経る必要がありますが、当ダムは今年度から、ダム本体工事の前段となる「転流工工事」に入ります。転流工とは、ダム本体を施工するために川の水を迂回させる施設です。新丸山ダムの場合、現在の丸山ダムの機能（洪水調節、発電）を維持したまま工事を行うことから、呑口部にゲートを設置する構造になっています。

今年度は、この転流工に着手するほか、工事用道路、付替道路（県道井尻八百津線、国道418号）及び新管理所施設の工事を引き続き実施するとともに、地質調査、設計業務、用地調査、補償等を合わせて、約34億円の予算で事業の進捗を図っていきます。

平成27年度末工事施工状況



新管理所敷地造成（施工中）



付替国道418号6号橋（下部工事）



ダム周辺
 ・新管理所敷地造成（施工中）
 ・付替県道井尻八百津線（施工中）

八百津町潮見（付替国道418号）
 ・6号橋A1橋台P1橋脚
 ・土工部



付替県道井尻八百津線（施工中）



東→西



西→東

付替国道418号土工部

丸山ダム減勢池水抜き調査を実施

丸山ダムでは去る2月上旬、減勢池の水抜き調査を実施しました。減勢池とは、ダムのゲートから放流された水の勢いを和らげるために、ダムの下流に設けられた池のことで、水深約8m、25mプール約100杯分の水が貯まっています。

丸山ダムは昭和31年3月の完成から丸60年が経過していますが、減勢池の水を抜いての調査は今回が初めてでした。調査の結果、コンクリート表面に若干の摩耗はあったものの、コンクリートそのものの強度は十分保たれており、また、構造的に問題となるような変状等も見られませんでした。



調査中の減勢池（右上は通常時）
 “人が写っています。わかりますか？”

金子八百津町長が現場視察

2月29日（月）、先の町長選挙で初当選された金子八百津町長が、当ダムの現場を視察されました。

当日は、丸山ダム展望台での新丸山ダム事業説明のほか、付替県道井尻八百津線、付替国道418号等の工事現場、更には、工事着手予定の転流工、付替県道大西瑞浪線の予定地を回る、約半日に及ぶ行程となりました。

現場視察の後は当事務所に立ち寄り、全職員に、事業への労いと激励を頂きました。



工事状況を視察
（蘇水峡山荘ぷらら）



新丸山ダム事業の説明
（丸山ダム展望台）



職員への挨拶
（新丸山ダム工事事務所）

女性パトロール隊「ABEせーふてい FLOWERS」

2月12日（金）、付替県道井尻八百津線第2小和沢橋PC上部工事受注業者の女性社員6人で組織する安全衛生パトロール隊が、現場パトロールを実施しました。

安全対策や衛生環境について、「清掃道具が揃っていてもきれいに感じた。」など、女性ならではの視点から意見が出されました。

現場パトロール後は当事務所に立ち寄り、事務所の女性職員らと意見交換を行いました。



トピックス

●山に建っている銀色の板って何？

皆さんは山の中腹や山頂に建っている「銀色の板」に気付かれたことはありませんか？あの板は、マイクロ通信に使われている反射板で、国土交通省の他、電力会社や通信会社等でも設置しています。

現在の通信は光ケーブルが主流になっていますが、マイクロ通信も、特に防災面において有効な通信手段の一つとして利用されています。

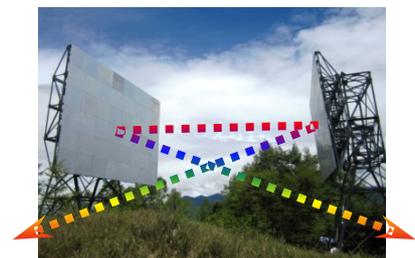
マイクロ通信は、マイクロ波という光の性質に近い直進性のある電波を使用し、パラボラアンテナ間で通信を行います。山等がある見通しがきかないところでは、反射板で電波を反射させて通信ができるようになっています。



八百津高校の東側に建つ
伊岐津志反射板



伊岐津志反射板を向く
当事務所のパラボラアンテナ



とある山頂の向かい合う反射板

新丸山ダムの工事実施箇所



＜工事の進捗状況 H27.3末 現在＞

＜県道井尻八百津線＞

1. 平成26年度
新丸山ダム井尻八百津線新小和沢橋PC上部工事
(株)IHインフラ建設 <工期> H28.9.30まで
2. 平成27年度
新丸山ダム井尻八百津線第2小和沢橋PC上部工事
(株)安部日鋼工業 <工期> H28.10.14まで



新小和沢橋上部工 (P1橋脚)



新小和沢橋上部工 (P2橋脚)

＜新丸山ダム仮設備＞

- I. 平成27年度新丸山ダム転流工進入路工事
小池土木(株) <工期> H28.8.19まで

＜新丸山ダム管理所＞

- a. 平成27年度新丸山ダム管理所敷地造成工事
曙開発(株) <工期> H28.5.26まで



第2小和沢橋上部工 (P1橋脚)



新ダム管理所敷地造成工事

※詳細については、当事務所ホームページをご覧ください。

八百津町で一番高いところは？

八百津町で一番高いところ…、それは「見行山(けんぎょうさん)」の山頂です。「見行山」は、八百津町、白川町、恵那市の3市町界にあり、標高905m、山頂には二等三角点「見行」のほか、地元福地小学校(H22年に久田見小学校と統合)の登頂記念碑(柱)等が建っています。山頂からは、北方には御嶽山を、西方には福地、久田見の集落から、美濃加茂、可児の市街地が遠望できます。福地峠の北200m程の町道からは、45分程度で山頂まで登れました。機会があれば、足を運んでみてはいかがでしょうか。

